

大会概要

平成30年3月6日
特定非営利活動法人 地学オリンピック日本委員会
解禁日：設定なし

「グランプリ地球にわくわく2018」の大会開催について

NPO法人地学オリンピック日本委員会では、国際地学オリンピックに派遣する高校生を選抜する事業を行っています。このたび、科学技術振興機構、つくば科学万博記念財団、日本地球惑星科学連合ほかとの共催、ならびに、特別共催として茨城県、つくば市、筑波大学、産業技術総合研究所地質調査総合センターほかの協力を得て、茨城県つくば市において、第10回日本地学オリンピック本選（兼第12回国際地学オリンピック・タイ大会国内二次選抜）として、合宿形式の大会「グランプリ地球にわくわく2018」を開催いたしますので、その概要を報告いたします。

1. 大会名称 : グランプリ地球にわくわく2018
2. 参加資格 : 第10回日本地学オリンピック予選で合格した中学3年生～高校2年生
3. 参加者 : 59名（中学3年生9名、高校1年生12名、高校2年生38名）
4. 日程/場所 :
 - 3月11日 13:30～ 開会式（筑波学院大学2201号教室）
14:00～ とっぷ・レクチャー（筑波学院大学2201号教室）、
外国人留学生との懇談会（筑波研修センター）
 - 3月12日 筆記試験・標本鑑定試験（筑波大学）
研究所見学
（国立科学博物館、防災科学技術研究所、国立環境研究所）
OBとの懇談会（筑波研修センター）
 - 3月13日 研究所等見学（国土交通省国土地理院・地図と測量の科学館、
産業技術総合研究所・地質標本館、筑波山地域
ジオパーク）
13:00～ 表彰式（つくばカピオ）
5. 主催 : NPO法人地学オリンピック日本委員会

（お問い合わせ）

NPO法人地学オリンピック日本委員会事務局 瀧上、大本

電子メールアドレス : esolympiad@yahoo.co.jp 電話 : 090-1772-7395(瀧上携帯)

【参考資料】

◆ 参加生徒について

- 男女別参加人数 : 男子55名、女子4名
- 学校種別参加人数 : 国公立学校23名、私立学校36名
- 都道府県別参加人数 (学校所在地):
 - 北海道地方 北海道2名
 - 関東地方 東京都20名、神奈川県7名、千葉県1名
茨城県1名、栃木県1名
 - 中部地方 長野県2名、岐阜県1名、石川県1名、
静岡県1名、愛知県1名
 - 近畿地方 三重県2名、京都府4名、大阪府2名、
奈良県2名、兵庫県5名
 - 中国地方 広島県3名、山口県1名
 - 九州地方 福岡県1名、佐賀県1名

◆ 大会の内容

○とっぷ・レクチャー

(2018年3月11日14時～17時、筑波学院大学2201号教室)

- ・参加生徒の研修の一環として行われる地球惑星科学の研究者による講演会。
- ・地球惑星科学ならびに地学の普及と振興のため、一般にも無料公開 (<http://jeso.jp/>より事前登録が必要)。
- ・講演者/講演タイトル (講演順)
 1. 鎌田 祥仁 (筑波大学)
「小さな化石から探る大陸と古海洋の変動」
 2. 甲能 直樹 (国立科学博物館)
「ゾウがまだ海棲哺乳類だった頃!?
—世界最古の化石が語る長鼻類の適応進化—」
 3. 藤原 智 (国土地理院 地理地殻活動研究センター)
「『動く断層』と『動かされる断層』
—熊本地震の地殻変動からわかってきたこと—」
 4. 高橋 雅紀 (産業技術総合研究所 地質調査総合センター)
「厚紙模型でひも解く日本列島地殻変動の謎」

○外国人留学生との懇談会

筑波大学に在学する外国人留学生と英語での懇談を行う。

○筆記・標本鑑定試験の概要

- ・2018年3月12日に筑波大学にて実施。
- ・試験は、地質、固体地球、気象、海洋、天文・惑星の各分野での記述式問題と標本（岩石・鉱物・化石）を使った実践的問題。

○研究所見学

3月12日、13日に、バス3台に分乗して、地球惑星科学関連の研究所等を訪問し、専門の研究者より説明を受ける。

○OBとの懇談会

過去本選や国際大会に出場した学生OBとの懇談を行う。国際大会でのエピソードや現在OBが大学で研究している内容などの紹介がある。

○表彰式

予選と本選の合計点の成績上位者10名を金賞として表彰。その中から成績の最優秀者に茨城県知事賞、次席の生徒につくば市長賞が授与される。また、銀賞として成績上位11位～20位を、銅賞として21位～30位を表彰する。さらに、成績最優秀中学生につくば科学万博記念財団理事長賞、成績最優秀女子生徒に日本地球惑星科学連合賞、標本鑑定の成績優秀者に産総研地質調査総合センター賞が授与される。

◆ 第10回日本地学オリンピック

○国際地学オリンピックに派遣する代表生徒を決めるための選抜試験で毎年開催。

・第10回日本地学オリンピック予選

2017年12月17日13:30～15:30に、全国72会場（大学会場44、高校会場26、その他2）でマークシート方式の試験を実施。応募者数2211名・受験者数1903名で、予選合格者は67名。

・第10回日本地学オリンピック本選

「グランプリ地球にわくわく2018」として実施。予選合格者のうち、国際地学オリンピック派遣対象者となる中学3年生～高校2年生59名が参加予定。このほか、中学1・2年生の予選合格者3名がチャレンジ受験として参加予定。

◆ 第12回国際地学オリンピック・タイ大会 代表選抜試験

- ・2018年3月13日表彰式後～14日午前中に筑波研修センターにて実施。
- ・第10回日本地学オリンピックの金賞10名を対象とし、英語による集団討論や面接等を行い、日本代表4名を選抜。

◆ 国際地学オリンピック（International Earth Science Olympiad、略称 IESO）

○高校生のための科学オリンピックの一つで、国際地学教育機構（International

- Geoscience Education Organization、略称 IGEO) の主要活動として創設。
- 毎年開催される大会で、IESO 参加国・地域が持ち回りで主催。
 - 第1回大会は2007年に韓国にて開催、日本は2008年の第2回大会（フィリピン）から参加し、それ以降、毎年4名の高校生を派遣。
 - 大会の主な活動は、地学に関する筆記試験・実技試験（成績上位者にメダル授与）と、共同研究を疑似体験する国際協力野外調査などの国際交流活動。
 - 2018年は、第12回国際地学オリンピックが、8月8日～17日の日程でタイ・カンチャナブuriにて開催。3月14日に選抜された4名の日本代表者は、その後通信研修や合宿研修を受けたうえで国際大会に望む。なお、4名の日本代表者のプレスリリースは3月下旬予定。

以上